



臨床研究に関する情報の公開

作成日: 2025/09/01

研究課題名	進行性多巣性白質脳症が疑われ脳脊髄液から JC ポリオーマウイルスが検出された患者の臨床経過およびその予後等に関する後方的解析
研究の対象	PML 疑い患者の症例
研究目的・方法	進行性多巣性白質脳症 (PML) は免疫不全患者等において JC ポリオーマウイルス (JCV) が増殖することで生じる致死性の疾患です。PML の診断では、脳脊髄液に放出された JCV を検出する PCR 検査が有効です。本件は日本国内における PML の発生状況をリアルタイムで把握する上で有用であるが、PML 医療の向上を考慮した場合、個々の患者について詳細な臨床経過や予後を解析し、得られた知見を臨床に還元する必要があると考えました。 そこで、本検査を依頼した主治医に協力を要請し、PML 疑い患者の症例登録によって臨床情報を後方視的 (レトロスペクティブ) に解析します。 研究期間: 許可日~2029 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報の種類	臨床検体中の病原体 (JC ポリオーマウイルス) の特殊検査 (超高感度 PCR 検査等) を国立感染症研究所に依頼します。その際、同研究所における研究の一環として、検査後の残余試料および患者情報の一部を記入した調査票 (個人情報进行削除) を提供します。
外部への試料・情報の提供	配送業者を介して提供先の機関に直接送付
研究組織	研究代表者: 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 電話: 06-6312-1221、FAX: 06-6312-8867 脳神経内科 吉田匡伸 研究責任者: 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院脳神経内科 吉田匡伸 研究代表者: 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 国立感染症研究所 ウイルス第一部 主任研究員 中道一生